

平成16年度 勝山市社会福祉協議会

決算報告

16年度の決算と事業について、去る5月31日の評議員会において承認されました。

収入の部		(円)
会費	3,811,000	
寄付金	1,530,160	
市補助金	16,659,320	
県社協助成金	453,000	
受託金	18,927,245	
事業収入	8,513,442	
貸付返済金	283,000	
共同募金配分金	6,232,753	
負担金	901,710	
介護保険収入	90,964,532	
利用料	244,600	
雑収入	1,853,797	
受取利息	2,462,048	
経理区分間繰入金収入	40,038,297	
合計	192,874,904	

支出の部		(円)
人件費(非常勤ヘルパー33名含む)	116,614,464	
事務費	2,489,132	
事業費	16,569,767	
貸付金	157,000	
助成金(地区社協活動他)	15,826,887	
借入利息	2,568	
経理区分間繰入金支出	42,538,297	
合計	194,198,115	



「福祉教育推進校事業
「アイマスク体験」

事業報告

- ・地域福祉推進事業
 - ・各地区社協と連携して、ふれあいサロンの実施や、独居老人等の配食サービスの実施
 - ・ふれあいサロン 開催件数 140回
 - ・配食サービス 配食延数 4151食
 - ・福祉総合相談事業
 - ・法律相談月2回(予約制)、年金労務相談月1回、心配ごと相談常時、夜間相談月4回(予約制) 総計309件
 - ・共同募金配分金事業
 - ・車いす、ギヤジベット貸出、当事者グループや家族会の運営援助と助成金の配分、遊具設置、福祉教育推進校活動助成、障害者外出支援事業等
 - ・歳末たすけあい配分金事業
 - ・配分検討委員会での検討に基づき要保護世帯等へ慰問金を配分、地域福祉の推進を目的とした諸事業への配分拡大等
 - ・ボランティアセンター活動事業
 - ・市民啓発推進事業 ボランティアだより年5回発行
 - ・ボランティア活動の相談、登録、あつせん
 - ・ボランティアコーディネーターの設置
 - ・目的ボランティアの育成・支援
 - ・ボランティア連絡協議会との連携・支援
 - ・ふれあいボランティア養成講座全5回
 - ・ボランティア研修会の開催
 - ・介護保険事業
 - ・ホームヘルプサービス事業
 - ・在宅においての介護(身体介護・家事援助)
 - ・居宅介護支援事業

介護認定調査・ケアプラン作成等

- ・紙おむつ幹旋
- ・高齢者外出支援事業
- ・リフレッシュ事業 在宅介護者の息抜き場として年3回
- ・福祉サービス利用援助事業(権利擁護事業)
 - ・奥越の基幹社協として、勝山・大野・和泉村の3地区を統括。福祉サービスの利用手続きや金銭管理のお手伝いをして、いきいきと安心して暮らせるようにサポートした。
- ・障害者生活支援事業(障害者生活支援センター)
 - ・在宅の障害者のかたがたが、より良い生活を送れるように支援を行った。障害者交流事業として、在宅・施設の障害のあるかたと地域のかたが一緒につどい、共にあゆもう愛の広場」を開催した。
- ・福祉フェスタ開催
 - ・福祉事業に貢献したかたの表彰式典と、楽しい大道芸や地区社協・施設等による模擬店等を通じて市民への福祉の啓発活動を行った。



「共にあゆもう愛の広場・えち鉄コース」

共にあゆもう愛の広場 ～福祉健康センター「すこやか」で遊ぼう～ 参加者募集

日時：平成17年9月25日(日)
午前9時30分～午後3時まで
場所：福祉健康センター「すこやか」

毎年恒例の共にあゆもう愛の広場は、福祉健康センター「すこやか」にてスポーツや体験などを通して障害をお持ちの方・小中高校生・ボランティアが一日を過ごします。

参加申込締切 平成17年9月5日(月)
参加費 500円(コースによって実費負担あり)

主催：社会福祉法人 勝山市社会福祉協議会
共催：勝山ボランティア連絡協議会

新しくサロンが始まりました!

伊知地行こサロン

婦人会卒業、だけど老人会にはまだ.....という元気おばさん20余名、自分たちが集まる場所がほしいと切望して6月から始まりました。

代表者の出口さん、ご自分からは決して大きな声も指示も出さない。歯がゆいくらい黙ってニコニコしている。みんなであでもない、こうでもないと文字通りワイワイ・ガヤガヤとやっているうちにしかるべくことが決まってしまうような雰囲気がある。毎月第2・4水曜日午後1時半から、リズムダンス・踊り・手芸・ハイキングとやりたいことはたくさん。自分たちが使う公民館の草取りや花壇作りも活動のうち。このままみんなで元気に年をとって伊知地も元気になるようなサロンです。



比島さわやかサロン

お講さんもなくなって、年寄りが集まる機会がなくてさびしい、という声を聞いて世話役を買って出たのが花山さんと民生委員の松山さん。比島のお御堂でサロンを開くことになりました。軽い体操やレクリエーションで体と頭を解きほぐし、失敗をみんなで笑いあって心もほぐし、おいしいお茶とお菓子をいただきます。毎月1回最後の月曜日、午後のお楽しみになりました。昨年からは始まっている千代田と蓬生のサロンとの「合同サロン」も予定しています。

「勝山市障害者生活支援センターコーナー」 障害を持つかたの生活を一緒に考えるセンターです。

スポーツあれやこれや.....
障害者スポーツ紹介

ハンドサイクル編

ハンドサイクルとは、手でこいで時速30km程のスピードを出すことができる自転車です。手漕ぎ自転車とも訳されるこの乗り物は、足を使わなくても自転車に乗っているような風を感じられることができることと障害のあるかたにも広がっています。

2004年に行われたアテネパラリンピックからは、正式種目にもなりました。日本での普及は今から2004年には、大阪で、初めてレースが開かれました。これから競技人口が増える競技です。



障害者自立支援法について勉強をしませんか?

障害者自立支援法を学ぶ研修会の開催ご案内

とき：平成17年9月16日(金)
午後1時30分～3時30分
場所：多田記念大野有終会館3F 306号室
内容：「障害者自立支援法による改革
- 地域で暮らすをあたりまえに -」
講師：愛知淑徳大学 谷口明広先生
全部で3回の講座です。

楽しいね、世界にひとつしかない 私の作品だよ

夏休みに入った7月30日の土曜日、新しくできた福祉健康センター「すこやか」の創作交流室で、親子陶芸教室が開かれました。交流室は、陶芸がしやすいように水道の設備や大きな工作机もあります。

この日は、陶芸ボランティア「どびんの会」のメンバーが、陶芸に挑戦する子どもたち4歳から小学校4年生10名のお手伝いをしました。

越前焼きの土を目の前にして、「何作ろうかな?」悩みつつも、手が動きます。恐竜?お皿?貯金箱?兄妹での参加も多くありました。

作品は、乾燥して素焼きし、釉薬(上薬)をつけ、本焼きをして完成となります。夏休みの思い出の作品になるといいですね。

